県博デー公開講座（文化講演会）-島田恭子先生「桜文様と私」-

宇都宮短期大学

毎月第３日曜日は県博デーとして、県立博物館ではさまざまな催し物が開催されています。
４月の県博デーにあわせて、宇都宮短期大学では公開講座（文化講演会）を企画いたしました。
ぜひお気軽にご参加いただければ幸いです。

記

１．日時・場所　４月　１９日（日）午後１時～２時１５分

栃木県立博物館講堂　宇都宮市睦町２－２

２．講　師　　陶芸家　島田　恭子 先生

【経　　歴】　茨城県桜川市に生まれる。
栃木県立窯業指導所修了，栃木県益子町で作陶を始める。
栃木県社会教育委員会，栃木県女性センター評議会，栃木県景観アドバイザー，
栃木県マロニエ建築賞審査委員，エフエム栃木番組審議会 等の委員も務める。

【個　　展】

1984 年	第１回益子焼陶源郷展出品
1994 年	島田恭子作陶展（ＮＨＫ宇都宮放送局主催）
1997 年	源氏物語「千年の恋」着物デザイン出品（赤坂プリンスホテル）
1999 年	とちぎの陶芸益子展（下野新聞社主催）出品
	個展（日本橋髙島屋，以後毎年開催）
2001 年	島田恭子きものコレクション（日本橋髙島屋，以後毎年開催）
2003 年	個展（東京アメリカンクラブ）
2004 年	「島田恭子草花文様」出版
	個展（ニューヨーク gallery gen，05 年）
2007 年	個展（東武宇都宮百貨店，10 年，14 年）

３．テーマ　「桜文様と私」

私は益子の風景に出合い，作陶を始めました。益子の風景は子どものころの故郷の風景によく似ていました。故郷は能や歌舞伎でよく演じられる世阿弥の書いた「桜川」で有名なところです。ヤマザクラが多く自生し，平安時代に，紀貫之も「常よりも春辺になれば桜川　波の花こそ間なく寄すらめ」と京の都から歌ったのですから千年以上も前から桜の美しい里山だったのでしょう。
私が桜の文様を多く描くのは，大好きな故郷の子どものころに見た桜が今もなお私の心に鮮やかに残っているからかもしれません。
皆様のお心にある桜を思い出していただき，ご一緒にお話しできましたら幸いです。

４．主 催　宇都宮短期大学　　共　催　栃木県立博物館

５．お申し込み

４月１５日までに宇都宮短期大学法人本部（FAX ０２８－６３５－３５４０）あて
ＦＡＸをお願いいたします。（入場無料、定員になり次第締め切ります。）

ＦＡＸ送信票

県博デー宇都宮短期大学公開講座（４月１９日）参加申込書　　FAX ０２８－６３５－３５４０

ご芳名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　ご参加人数　　名

ご連絡先の電話番号又はＦＡＸ番号をお書きください

※ 定員で締め切った場合のみ，ご連絡差し上げます。